

受け継ぐ伝統の心！文化祭紹介

9/8 都立駒場高等学校「第66回都駒祭」

9/15 目黒学院中学校・高等学校「第66回都駒祭」

模擬店

1年生「バーレー、アトラクション、縁日、お化け屋敷、娯楽」
各クラス工夫されて楽しかったです。行列ができるほど、人気でした！！

保健体育科「ゲーム」
2年生「映像」
クオリティが高そうな感じでしたが、時間が合わず観られませんでした…。

3年生「演劇」
昨年の映像での経験が生かされていました。

2年が映像、3年が演劇をやっており、演劇を見ることで、整理券を渡さないといけなくらいの人数で、そのシステムや待ち時間の予測にも力が入っていた。受験も近く大変な中、あれだけの演劇をしていたことに感服した。自分も見聞なくては、映像に関しては時間の都合上観ることができなかったが、タイトルや内容から、これもすごいかなというのが伝わってきた。全校をあげて真摯に準備していたことがうかがえる。



「ゲーム」
的あてやボーリング、カジよくできた企画が多かった。

「ステージ」
ダンスや華やかな衣装など、生徒もベテランから目立っていた。

「カフェ」
お菓子や飲み物を販売していた。インスタ映えポイントやパフォーマンスなどもあった。

「部活コーナー」
運動部はユニフォームや活動風景を紹介していた。も力が入っており、今後の参考にしたいと思った。孤立ということもあり、より自覚が高かったよう。都立駒場とはまた違った面白さがあった。部活も、



お化け屋敷

1-6
「6月6日6時6分6秒」
怖さ：★★★★★

666(悪魔の数字なんだ)：入る時に渡されたライト(ろうそく)が暗く、高田編集員が恐怖で大騒ぎしていた。

1-7
「おそろしの隔離病棟」
怖さ：★★★★★

もう少し暗いライトが支障されたが、脅かす側の演技がレベルアップしていた。正統派で怖かった高田編集員が一番怖かった(笑)。



2-D
呪いの人形にお礼を申し、夢中で女子編集員2人め怖さも増大できていた。

「呪いの人形」
～私と遊ぼうよ～
怖さ：★★★★★

呪いの人形にお礼を申し、夢中で女子編集員2人め怖さも増大できていた。



パンフレット



某宇宙戦争映画にちなんだネーミング。スローガンからもホーム(クラス)の団結力がうかがえる。

<スローガン> コマー・ウォーズ
～ホームと共にあらんことを～



入り口



シンプルな感じの入り口。中に入ると各クラスの広告で賑やかな感じでした。



客層

地域の人(特に家族連れ)や受験生が多かったように感じる。外部に校風をしっかりとアピールできており、より一層の印象向上につながっていると思う。また、在校生の友達や卒業生もそこそこ来ていた。

地域の人や受験生よりは在校生や目黒学院生が目立っていたように感じた。生る文化祭だったと思う。楽しい地域に宣伝すれば来校者も増える。

<結果> 都立駒場は各クラス、各学年がはっきりして、昨年の経験を生かしたクラスが多かった。目黒学院は自由な感じの文化祭に近い感じ?と思った。東山中は、中学なので来場者は保護者と卒業生が中心。高校と同じようなクオリティの生徒主体になっていくのがおもしろい。今後も躍進を続けてもらえればと思う。